

- (作り方)
 ①<の枠線で切り取る
 ②折り線に沿って1~4まで折る。

まず、安否を知らせましょう

●家族等との連絡方法●

災害用伝言ダイヤル 171

伝言の録音

1 7 1 □

1 □

(×××)×××-××××

回転ダイヤル式

プッシュボタン式

1 # □

録音

9 # □

伝言の再生

1 7 1 □

2 □

(×××)×××-××××

回転ダイヤル式

プッシュボタン式

1 # □

再生

9 # □

※プッシュボタン式電話機は、ボタンを押して「ピッポッ」と止間にえます。

□ガイダンス

携帯電話各社災害用伝言板サービス

大規模災害が発生した場合、携帯電話、スマートフォン等のトップメニューに「災害用伝言板」が表示されます。

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
 au(KDDI) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
 ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
 WILLCOM <http://dengon.willcom-inc.com>
 イーモバイル <http://dengon.emnet.ne.jp/>

徒歩帰宅を始めたら

●災害時帰宅支援ステーション●

コンビニエンスストアやファーストフード店、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と、災害時の徒歩帰宅者支援のための協定を結んでいます。災害発生時には、被災状況に応じて事業者の可能な範囲でトイレや水道水、情報の提供を受けることができます。



災害時には、徒歩帰宅する旨を伝えましょう。

災害時帰宅支援ステーション

コンビニエンスストア、ファーストフード店、ファミリーレストラン、居酒屋、カラオケスペース等

協定を結んでいる店舗には、店頭ステッカーが貼られています。

※被災状況や立地などによりサービスを提供できない店舗もあります。

横浜市
City of Yokohama

大地震発生時の
帰宅困難者マニュアル



大地震発生時は、交通機関がストップし、たくさんの人が自宅に帰れなくなります。

～安全に帰宅するために～

- ・まず自分の安全を確保！
- ・災害用伝言サービスで安否を知らせる！
- ・帰宅は状況が落ち着いてから！
- ・職場や学校に泊まるなどして「時差帰宅」を心がける！

日頃から考えておきましょう

●帰宅困難者心得●

- ①むやみに移動を開始しない
- ②災害用伝言板などで家族の安否を確認する
- ③職場や学校などに泊まるなどして「時差帰宅」を心がける

●日頃からの備え●

- ①家族で安否確認の方法や集合場所を話し合っておく
- ②職場や学校などに泊まれる準備をしておく
- ③スニーカー、携帯電話の充電器、懐中電灯、飲料水などを準備しておく
- ④自宅の耐震化や家具等の転倒防止策をしておく



防災情報Eメールサービス

「おしよし防災ツツ」で閲覧できます。

http://www.city.yokohama.jp/b-m/スマートフォン版

http://www.city.yokohama.jp/b-sp/P C版

携帯電話版

横浜市の緊急なお知らせ

- ・地震震度情報
- ・気象警報・注意報
- ・河川水位情報
- ・土砂災害警戒情報等

下記のアドレス又はQRコードから空メールを送信すると、登録案内メールが届きます。

entry-yokohama@bousai-mail.jp



帰宅困難者一時滞在施設検索システム

携帯電話やスマートフォンから「帰宅困難者一時滞在施設」の情報を検索できます。

④災害時には、アイコンの色によって受入れ状況が分かります。

オレバツ：安全確認中
 赤：要員
 緑：要入可
 灰：要入終了 (青：平常時)

⑤施設を選択すると、提供サービス等がわかります。

スマートフォン版



帰宅困難者一時滞在施設検索システム

④スマートフォン版



⑤地図を表示する

・住所、駅、目標施設を探索→その場所を中心に地図が表示されます。

・周辺の施設を探索→地図の中心から近い順に施設一覧が表示されます。

⑥「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。ボタンを押してください。

⑦「システム」の利用方法、規約を確認し、画面下部の「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑧「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑨「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑩「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

帰宅困難者一時滞在施設検索システム

QRコードスマートフォン用



④スマートフォン版



⑤地図を表示する

・住所、駅、目標施設を探索→その場所を中心に地図が表示されます。

・周辺の施設を探索→地図の中心から近い順に施設一覧が表示されます。

⑥「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑦「システム」の利用方法、規約を確認し、画面下部の「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑧「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑨「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

⑩「システム」のボタンを押して、画面下部の「システム」を利用する。

地震直後の帰宅はちょっとまって！帰宅を始めるときに確認しましょう

1 山折り

1 山折り

3 谷折り

2 谷折り

4 谷折り